

女性のためのつながりサポート事業(居場所づくり) 【名古屋市】

個別事業費	15,000 千円
交付金額	11,250 千円

地域の実情と課題

- R4「コロナ禍における女性のつながりサポート事業」のアンケート結果において、家庭や仕事、人間関係の問題のほか、性暴力やDV、孤独などについて不安やストレスを抱えているとの声があった。
- 「何が不安かわからない」「モヤモヤ」など不安な内容を言葉にできていない方もみられ、様々な困難を相談することもできずに一人で抱えている方の存在も明らかとなった。

事業の特徴

①居場所の提供

安心して過ごせる環境を提供するとともに、抱えている困難について早期に相談できる支援機関について情報を得られる居場所とする。また、仲間づくりのサポートを行うとともに、利用者が自信や主体性を育みながら一緒に自立に向けて動き出せる機会を提供する。

②プチ相談

①の利用者の困りごとの整理の手伝いや支援機関の紹介をし、利用者が必要な支援を受けられるよう、女性支援員による30分程度の気軽な相談を実施する。

事業の効果

①安心して過ごせる場の提供

34回実施。延べ参加者数778人。再来者対象の聞き取り調査の「利用を通じて意識の変化や行動の変化」(自由記述)に対して「孤独感が軽くなった」などの前向きな声をいただいた。

②プチ相談

対面で実施、延べ利用者数140人。DV、家族関係、人間関係、仕事のことなど相談主訴は広がった。

目的・目標

新型コロナウイルス感染症拡大で社会・経済が大きな打撃を受け、特に就労や家庭生活において女性が深刻な影響を受けたことが顕在化した。このような状況の中、一人で困難や不安を抱える女性たちが居場所や仲間を持ち、社会とのつながりを回復し、必要に応じて適切な相談機関につながり、ひいては将来に向けた自立を促すことを目的に、ジェンダーの視点に立った支援をするもの。

連携団体

連携団体: 経営者団体、教育機関、市民団体(女性団体、男性団体等)、行政機関の全47団体

今後の課題

男女平等参画推進センターにおいて、これまで相談等につながっていない女性への相談支援機能を強化し、不安の解消や社会とのつながりの回復、自立に向けた意欲向上を図ることが必要。

